

注意

最初の3枚と最後の2枚は、
テンプレートをそろえる。

せとうち先生

スキルアップチャンネル

教材・教具 小学校 社会科 年表

「表情・話し方」
「発問・助言」
「机間指導」
「板書」
「ノート指導」
「グループ学習」
「教材・教具」
「学習意欲」
「考える力」
「学級経営」
「特別支援教育」
「ICT活用」
等から選択

校種を書く
「小学校」
OR
「中学校」

教科名を書く
「特別支援」
「学級経営」
「ICT活用」
等でもOK

キーワードを書く
1つ

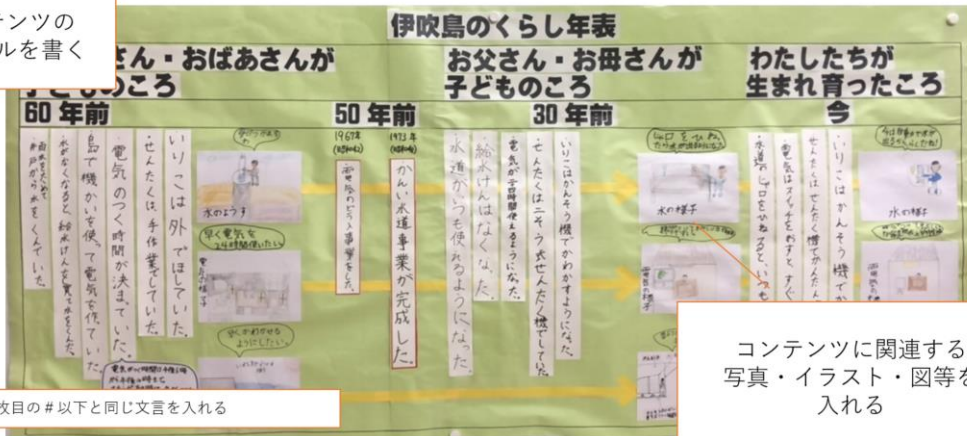
ご視聴ありがとうございます。

このコンテンツは香川県教育委員会が作成している「せとうち先生スキルアップチャンネル」です。

今から視聴していただく動画のキーワードは、**小学校・社会科・表現物・年表**となっております。

子どもたちが発表でしっかり使える年表の作り方

コンテンツの
タイトルを書く



スライド1枚目の#以下と同じ文言を入れる

コンテンツに関連する
写真・イラスト・図等
を入れる

教材・教具 小学校 社会科 年表

香川県教育委員会

そして、今回紹介する実践はこちら、
「子どもたちが発表でしっかり使える年表の作り方」
となっております。

スキルアップのポイント

指導や活動の様子を書く

児童の写真等が入る場合は、必ず顔をぼかす。

小学校中学年くらいの年齢では、自分たちで年表をつくることで

指導や活動の効果を書く

発表するときに、子どもたちが活用できる年表になる

内容がさぬきの授業基礎・基本に関連のあるスライドには、この位置にこのバーナーを入れてください。※マストではありません。その際、基礎・基本の目次を参照に赤字部分を修正してください。

コンテンツに関連する写真・イラスト・図等を入れる

参照：さぬきの授業基礎・基本「板書」

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/14668/kisokihon-all.pdf>

香川県教育委員会

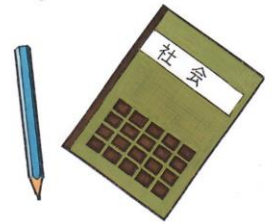
この実践のスキルアップのポイントは
△小学校の中学年くらいの年齢では、自分たちで年表をつくることで
△発表するときに子どもたちが活用できる年表になる
ということです。

年表をつくる手順

スライドのタイトルを入れる

ここから2枚はフリーで作成して下さい。
スライドは1枚までなら増やしてもよい。
テキストのフォントはUDフォントを利用する。

1. 家で聞き取りを行う
2. 聞き取ったことを短冊に書く
3. 短冊を時系列に並べる
4. 余裕があれば、絵を描く



香川県教育委員会 

さっそくですが、年表の作り方を紹介していきます。
つくる手順はこちら。

1 家で聞き取りを行う。小学校中学年だとインターネットや資料より聞き取りがいいですね。その方が分からないことについて質問できるのでよりイメージが持てます。

2 その聞き取ったことを短冊に書く。ひとつの短冊にひとつの出来事を書きます。

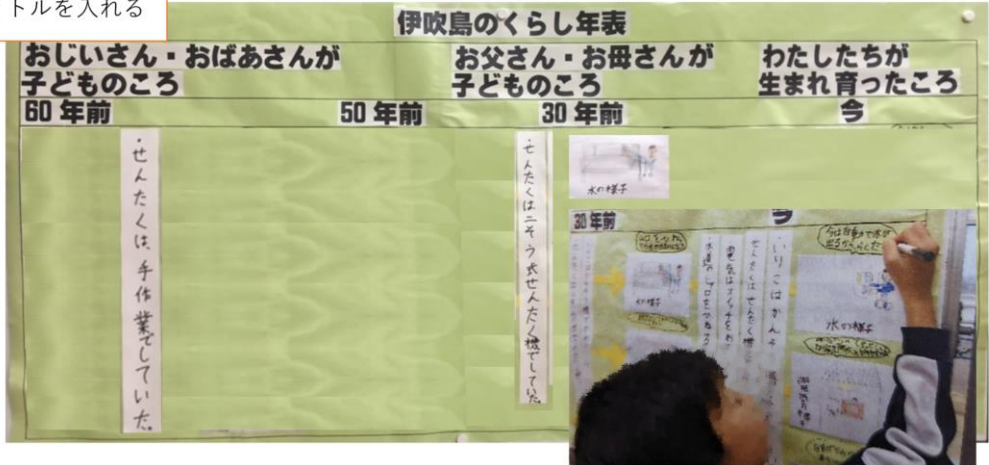
3 そして、クラスみんなの短冊を集めて、時系列に並べていきます。

4 時間に余裕があるようなら、子どもたちに絵を描かせることをお勧めします。これも、昔の様子をイメージさせるのにとっても効果があります。

この手順を詳しく説明していきましょう。

年表をつくる手順

スライドのタイトルを入れる



香川県教育委員会

まずは聞き取りです。調べる内容をきちんと授業で確認し、調べる期間もしっかり取ってあげてください。そうすると、おじいさんなど一緒に住んでいない人への聞き取りもしやすくなります。

△聞き取りの期間、先生は年表の台紙をつくります。この年表では、「おじいさん・おばあさんが子どもの頃」といった事も書かれていますね。前の教科書ではこういった表現がありました。今の教科書ではあまりこういった表現はしなくなったようです。台紙をつくる際にはぜひ教科書の年表を参考にしてください。

△そして、調べたことを短冊に書いていきます。ここでは短冊ひとつに出来事ひとつということをしかりと例を示しながら説明してあげてください。その際、「2行はだめだよ。1行で書くんだよ」と助言すれば、子どもは短冊に書く言葉を精選するようになります。

△そして、みんなで相談しながら短冊をどのあたりに貼るか決めていきます。この時、子どもたちは「うちのおばあちゃんは、〇〇ってっていたよ」のように聞き取りの内容を口にしながら、位置を決めていくはず。こういったやりとりを通して、調べてきたことの定着を図ることもできます。

△可能であれば絵も描かせましょう。子どもの頭にあるイメージを絵にして描き出すことも、昔の様子を理解していくことにつながります。

△まだ、子どもたちが書き足りないようなら「まだ、説明が足せるなら空いてるところに書き込んでいいよ」といって書かせましょう。

子どもたちは、こういった作業を通して、一つ一つの出来事を自分なりに解釈しながら昔の様子を再認識していきます。中学年の子どもたちにとってこの作業の時間が実はとても大切です。こういったプロセスを経てできた年表は子どもたちにとって、書かれていることがしっかり理解できた年表となります。

ですから、発表の時に活用できる年表となるわけです。

スキルアップのポイント

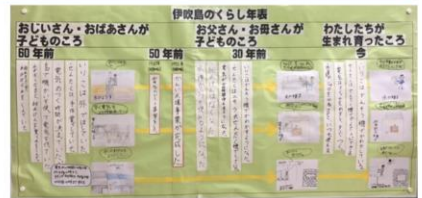
3枚目のスライドと同じもの

小学校中学年くらいの年齢では、
自分たちで年表をつくることで



発表するときに、子どもたちが、
活用できる年表になる

スライド3のものと同じものを貼り付けてください。



参照：さぬきの授業基礎・基本「板書」

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/14668/kisokihon-all.pdf>

香川県教育委員会



今回は、小学校の中学年くらいの年齢では、自分たちで年表をつくることで発表するときに子どもたちが活用できる年表になるということをお話ししました。今日紹介した自分たちでつくった年表と教師がつくって提示した年表では活用できるレベルが全然違います。ぜひ、1度試してみてください。

せとうち先生 スキルアップチャンネル

教材・教具 小学校 社会科 年表



以上でせとうち先生スキルアップチャンネルを終わります。
他にもいろいろなコンテンツを用意していますので、ぜひ見てくださいね。
それでは、さようなら。

全体を通して

- 著作権、肖像権への留意する。（不確かなものは使用しない）
- 保護者等も閲覧可能であることを念頭に置いて作成する。（評価方法に関わること等は掲載不可）
- 人権侵害に抵触する表現への配慮は十分に行う。
- フリーなスライド以外についてフォント及び色・サイズは全コンテンツ共通。
- 読み原稿はノートに書く。（5分以内の文章で）
- アニメーションのクリックポイントは△でノートに表示
- ノートの黒字部分は全コンテンツ共通の台詞。赤字部分は、各自作成。
- ※ 提出いただいたデータは、義務教育課で修正することがあることをご了承ください。
- ※ また、データ容量の都合で提出いただいたデータを全て掲載できない可能性があることをご了承ください。